

# 東金市総合交通計画に基づくデマンド型乗合タクシー実証運行計画

平成 24 年 3 月 27 日  
東 金 市

本計画は、東金市総合交通計画（平成 24 年 3 月 27 日策定）で計画するデマンド型乗合タクシーの平成 26 年 4 月からの市内本格運行に向けての実証運行に関する運行要件、検証事項、運行体制、実施スケジュール、利用促進策等を定める。

## 1 目的・基本的考え

平成 26 年度からのデマンド型乗合タクシーの市内全域の本格運行に向けて、実証運行によってサービス水準、運行形態、サービス提供等の検証をし、課題の改善、新たな可能性の模索をし、よりよい運行を目指す。

よって、総合交通計画で定めた要件によって運行することを基本とするが、課題と可能性の検証も踏まえ、広い要件及び追加要件で実施すること、また実証期間中に検証を経て要件の修正など改善をし運行することを妨げない。

また、実証運行にあたっては、まず確実な運行、支障のないサービス提供をし、そのうえで継続的な改善により、よりよい運行とサービス提供を目指すようにする。

## 2 実証運行期間

平成 24 年 10 月～平成 26 年 3 月

## 3 実証運行の内容

### (1) 実証運行の要件

#### ① 実証運行地域

・総合交通計画での運行計画において市内を 3 つのエリアに分割したが、実証運行はそのうちの里山エリアの中から公平地区・丘山地区・源地区での運行とする。

：行政地区区分、最小限の車両台数での運行、循環バスの運行状況、路線バスの状況、地勢等による不便の程度、外出時の困難度、高齢化率、不便地域の状況、目的地・経路範囲を勘案。

・運行についてはルートを決めず、発着地（目的地）を定め利用者の要求に応じて最大限の乗り合いを行うよう予約により運行する。基本的には、自宅及び目的地付近で乗降可能とするが、市街地内では乗降場所の傾向をみながら共通乗降場を設けるなど、運行の効率化を図るようにする。

#### ② 発着地（目的地）

実証運行では、病院診療所「通院」、商店等商業施設「買物」については、市内いずれの箇所も目的地とし、利用傾向や運行態様について検証する。

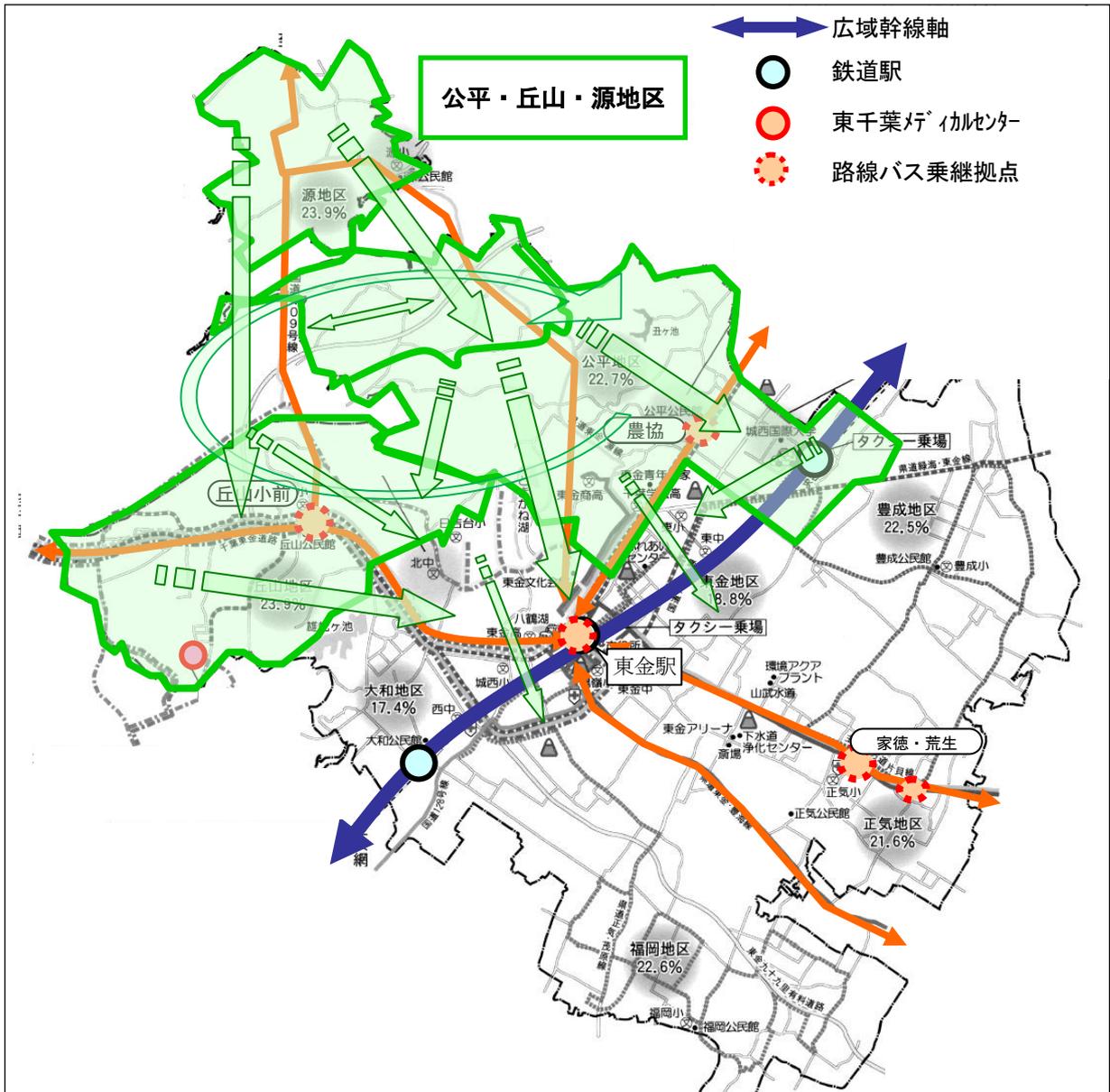
・公平・丘山・源地区内（実証エリア内）

自宅、路線バス停留所、鉄道駅、公民館等公共施設、病院診療所、商店等商業施設

・地区外（エリア外）

鉄道駅、東金病院、東金市役所、ふれあいセンター、東金アリーナ、東金文化会館、老人福祉センター、病院診療所、商店等商業施設

【 実証運行地域 】



③ 運行時間帯

- ・運行時間帯は、買物や通院時間帯の利用に対応することを基本としつつ、既存路線バス・循環バスの運行時間帯を考慮し、概ね午前8時から午後5時の間（発時刻）で設定する。

④ 運行回数（運行頻度水準）

- ・運行回数は、一般タクシーと循環バスの中間のサービス水準となる1時間に1便以上とする。
- ・予約がある便を運行する。
- ・利用者が多い時間帯についてはできる限り臨時便を運行するなど柔軟に対応できるようにする。

⑤ 運行ダイヤ

- ・運行時間帯は、午前8時から午後5時までの約11時間（実質稼働時間）の運行とし、1回当たりの運行時間・運行距離を想定して、概ね1時間のダイヤ設定により10回/日とする。

## 【1時間間隔】

運行ダイヤ					
午前	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
午後	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00

### ⑥ 運行日

- ・運行日は、土・日・祝日及び年末年始を除く平日とする。

### ⑦ 利用運賃

- ・利用運賃については、路線バスの運賃や行政負担等を考慮し、1回乗車ごとに400円とする。
- ・現行循環バスに準じた減免を適用する。
- ・運賃は現金による利用とするが、車内における運賃支払いを簡素化するために、チケット制による事前購入システムや路線バスなどと連携した共通パスなどの企画乗車券などを併せて検討を進める。

### ⑧ 利用方法

#### (1) 利用登録

- ・利用者の利用の事前登録により、利用者、主な出発地、要件で定めた目的地の主な具体的な目的地、乗降場所、利用日、利用便等を事前に把握、システムに登録し、各便の運行経路等の迅速な設定や配車が適切、合理的にできるようにする。
- ・利用対象者は、東金市に居住する住民で予め利用登録を行った者とする。
- ・単独で乗降が可能な利用者が対象とするが、単独での乗降が困難な場合は介添者の同乗を条件とし、介添者の予約も行なう。ただし、介添者の利用者登録は必ずしも必要としない。

#### (2) 予約

- ・利用方法は、電話連絡又はWEBによる事前予約制とする。
- ・予約期間は、利用希望日の1週間前から前日の17時までとする。ただし、復路として想定される午後の便の予約期限については、導入する予約システムの能力や予約・配車業務の可能性を考慮して定め、さらに実証運行での利用傾向や対応状況もみながら、よりよい予約対応を目指す。
- ・予約システム設置場所は、予約システムの能力や運用業務を考慮して、また運行予定事業者とも協議しながら定める。

### ⑨ デマンド予約システム

- ・市内本格運行におけるデマンド運行では、受付の確実性とともにより地勢特性などを考慮して利用者動線や運行エリアの組み方（複雑さ）が錯綜することも考えられることから、電話、また携帯電話のインターネット回線やGPS等を活用したIT型の予約・配車システムを、実証運行段階から導入し、予約、配車について運用の検証をするとともに、予約オペレーターやタクシー乗務員等によるシステム運用の教育訓練も進め熟度を高めていく。

## ⑩ 運行

- ・運行は、本市でのタクシー運行とサービス提供における長い経験があり本市の地勢など地域特性を熟知している、また複数のタクシー事業者間の実証運行における連絡調整が密にできる、及び実証運行に活用可能な車両を保有し、並びに道路運送第4条乗合の許可を有する市内タクシー事業者により実施する。
- ・市内本格運行には相応の車両台数による運行が必要となり、複数の市内タクシー事業者の協力によることが想定される。  
よって、実証運行においても、各市内タクシー事業者によるローテーション等での運行を考慮し検証をするとともに、本格運行に向けて運行事業者のデマンド型乗合タクシー運行の熟度を高めていくようにする。

## ⑪ 車両

- ・車両台数は、実証運行として必要最小限とすることと、柔軟なサービス提供、検証ができるようにすることのバランスを考慮して対応する。
- ・市内タクシー事業者が所有する乗客4人乗りセダン型車両3台、又は本格運行で予定する車種（乗客9人乗りと4人乗りの混合運行）を考慮しタクシー事業者の現有の中で可能な場合は乗客9人乗りジャンボタクシー1台、セダン型2台（いずれの場合も2台を基本・1台を応援として位置付け）を活用する。
- ・対応台数は、上記を基本とするが、未だ利用実績がないこと、また予約、利用の多い時間帯、各便ごとの設定経路など状況に出来るだけ柔軟にサービス対応できるようにするため、補助車両も常備し稼働できるようにしておく。
- ・なお、実証期間中に検証を経て、本格運行で予定する乗客9人乗りジャンボタクシー、乗客4人乗りユニバーサルデザイン型タクシーの調達をして切り替えていく場合もある。

## (2) 検証及び検証事項等

- ・本計画に定めるサービス水準、運行形態、運行エリア、利用しやすさなどについて利用者の満足度はどうか、運行、デマンドシステムの運用具合はどうかを調査し検証する。
- ・実証期間において、検証事項の検証はもとより、利用者、地域住民、市議会など各方面の市民意見を運営・運行主体、交通会議に取り込み継続的な検証と市内本格運行に向けての改善を行う。

検証事項	検証要素の把握手段			
	調査項目	実施時期	主な調査内容	調査方法
① 運行形態、手段 1 移動の傾向とエリア設定の整合性 ・発着地・経路、所要時間の傾向とエリア設定 2 移動の傾向とダイヤ設定の整合性 ・発着地・経路、所要時間の傾向とダイヤ設定 3 移動の傾向と車両台数の整合性 ・発着地・経路の傾向、利用者捕捉、所要時間と車両台数の多寡 4 利用時間帯とダイヤ設定の整合性 ・予約の多い時間帯・閑散時間帯とダイヤ設定 5 利用者数推計と実績数によるダイヤ・車両台数の整合性 ・利用者数傾向とダイヤ、車両台数の設定 6 利用傾向と定時刻・定路線型との比較、可能性 ・利用時間、利用者数、経路の状況と定時刻・定路線型との比較、可能性	1 利用者 OD調査 (起点・終 点調査)	実証運行開 始～実証運 行終盤	・利用者属性 ・利用者数の推移 ・利用レポート ・利用区間、経 路、起点終点 ・利用頻度 ・所要時間(システ ム・実績) ・利用時間、日	予約・配車シ ステム入出 力データよ り把握  運行業務日 誌等

<p>② 運行事業の波及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地、経路沿道の施設利活用の波及（商業施設・商店や病院・公民館等公益公共施設の利活用、健康診断など施策との繋がり等効果</li> <li>・利用者の意識、生活スタイル変化の状況</li> </ul>	<p>1 利用者OD調査</p>			
<p>③ 利用のしやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約方法のわかりやすさ</li> <li>・ニーズと運行エリアとの整合性</li> <li>・サービス水準、手段の妥当性(目的地・エリア・運行頻度・ダイヤ時間帯・運行日・車両・運賃)</li> <li>・迎え時間、到着時間の精度</li> <li>・乗降場所の状況</li> <li>・運賃收受の状況</li> <li>・乗務サービス</li> <li>・割引や乗り継ぎ運賃等の必要性</li> <li>・鉄道、路線バスへの乗り継ぎ状況</li> <li>・改善点の把握</li> </ul>	<p>2 利用者アンケート調査</p> <p>(3 運行地域住民アンケート調査)</p>	<p>実証運行期間の1週間程度</p>	<p>デマンドタクシー利用者の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用目的、運行以前の交通手段・外出頻度</li> <li>・利用理由</li> <li>・デマンドシステムの満足度</li> <li>・改善要望 等</li> </ul>	<p>配布:運転手が車内で乗車時に直接アンケート票を配布</p> <p>回収:郵送回収</p>
<p>④ 運行の意義等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の認知度の状況</li> <li>・サービス水準、手段の妥当性(目的地・エリア・運行頻度・ダイヤ時間帯・運行日・車両・運賃、サービス内容として利用しない理由等)</li> <li>・公共交通としての存在意義(地域公共交通手段として利用しない理由等)</li> <li>・改善点の把握</li> </ul>	<p>3 運行地域住民アンケート調査</p>	<p>実証運行終盤</p>	<p>デマンドシステムに対する住民意識の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス水準、手段に対する評価</li> <li>・利用しなかった理由</li> <li>・改善要望 等</li> </ul>	<p>郵送配布・回収</p>
<p>⑤ 予約システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムのルート設定、迎車時間の確実性</li> <li>・登録システム、予約システムの運用の確実性</li> <li>・配車指示等の確実性</li> <li>・予約積み残しの状況</li> <li>・トラブル時の対応</li> </ul>	<p>4 システム運用等</p>	<p>実証運行中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート、迎え予約時間と実際の乖離程度</li> <li>・登録、予約、配車の問題点</li> <li>・利用希望便の積残し状況</li> </ul>	<p>システム記録、聞き込み業務日誌</p>
<p>⑥ 運行業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各運行事業者の運行業務ローテーション</li> <li>・配車、運行指示等の確実性</li> <li>・応援車稼働の程度、確実性</li> <li>・運行経路のシステム経路の応用性</li> <li>・乗降場所の状況と対応</li> <li>・トラブル等の対応</li> </ul>	<p>5 運行業務</p>	<p>実証期間中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行事業者間の業務連携状況</li> <li>・運行状況</li> <li>・予約と応援車稼働の状況</li> </ul>	<p>業務日誌、聞き込み</p>
<p>⑦ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他課題、可能性など必要な検証</li> </ul>	<p>6 その他</p>	<p>実証期間中</p>		<p>上記方法等</p>

### (3) 実証運行の事業収支概算

#### ① 予算

- ・実証運行の予算については、国の地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づく国庫補助制度を活用して本市予算案を作成し、東金市議会審議等の所定の手続きを経て確立する。

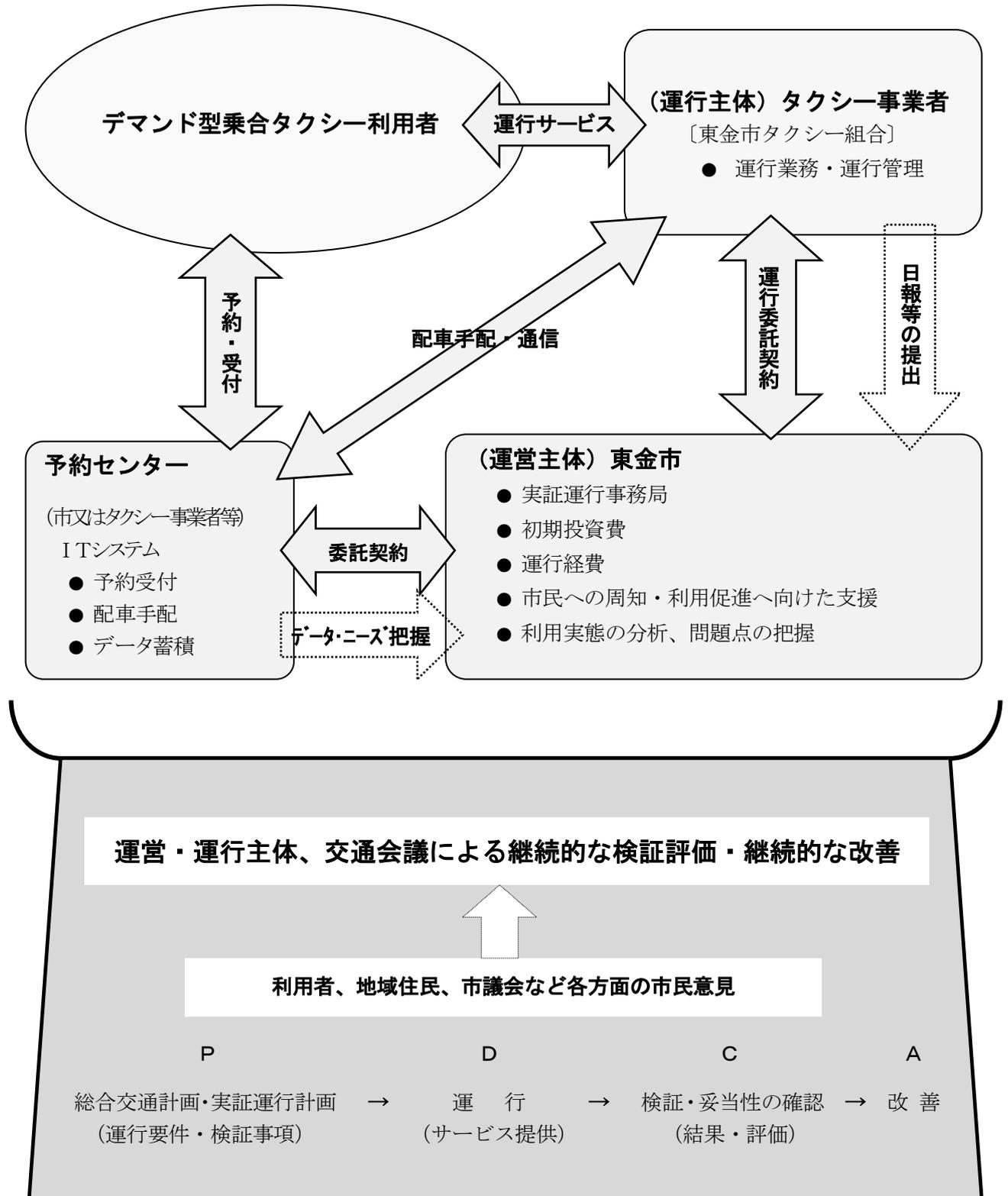
#### ② 実証運行の事業収支（概算）

万円

		24年度 24年10月から			25年度 26年3月まで					
		万円	日・月	台・人	万円	万円	日・月	台・人	万円	
支 出	運行費	2.2	120	3	792	2.2	240	3	1,584	
	予約配車システム費		8		160		12		240	
	予約オペレーター雇用費	12	7	2	168	12	12	2	288	
	PR・車両標示、利用者等アンケートなどの経費	60			60	230			230	
	小 計				1,180				2,342	
	26年度本格運行に向けての車両調達費									
		ジャンボタクシー					400		4	1,600
		ユニバーサルデザインタクシー					320		3	960
		小 計								2,560
		計				1,180				4,902
収 入	国庫補助分 (国→運行事業者→市)				175				351	
	運賃収入 (利用者→運行事業者→市)	0.04	120	40	192	0.04	240	40	384	
	計				367				735	
収支差 (行政負担)					813	車両購入経費含む 4,167				

#### (4) 実証運行・検証体制

- ・運営主体は東金市、運行主体は市内タクシー事業者とする。
- ・利用者等各方面の意見を、運営・運行主体、公共交通会議に取り込み継続的な検証と改善を行う。



(5) 実証運行開始までのスケジュール

実施項目	平成24年度									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
① 生活交通確保維持改善事業認定申請（総合交通計画）	●									
② デマンド運行システム（予約・配車システム） 準備構築・予約受付オペレーター採用・教育訓練・利用登録・システムシミュレーション等		—				システム契約 設定	システムシミュレーション 利用者登録	オペレーター採用 教育訓練	●	
③ タクシー運行事業者との調整（予約センター場所・各事業者配車プログラム・運行シミュレーション・乗務員教育訓練等）		—						運行契約	●	
④ 市民への広報・周知 運行地域住民への説明		説明・PR準備			●	—				●
⑤ 乗合許可（4条）申請				—		●				
⑥ 車両準備 車載システム・タクシー標示・愛称命名（実証中）						—			●	
⑦ 利用者登録募集 （システムへの登録）						—		●		
⑧ 運行実施予算の確立				市議会 予算案 上程						
⑨ 実証運行開始									●	
東金市地域公共交通会議			■				■			

## (6) 利用促進策の実施

利用促進策	事業内容	実施時期				
		開始前	開始時	実証中	本格時	
サービスの充実	乗務員等の教育・訓練の実施	・適切・確実な運用と、親しまれる運行を目指すため、運行事業者や予約オペレーターに対して教育・訓練を行う。	●			
	乗継拠点の待合空間の整備	・待合空間の整備について、乗継拠点に位置付けられた箇所を対象に、整備へ向けて検討を進める。			●	●
	1か月パス券乗り継ぎ券の発行、チケット制	・例：交通システム同士を乗り継ぎ移動した場合の運賃として乗り継ぎ券や1か月パスの発行、チケット制について検討する。			●	●
	運賃半額等利用者の拡大	・高齢者の運転免許証の自主返納制度に伴う運賃半額など対象利用者の拡大を検討する。				●
	市民からの愛称募集	・デマンド型乗合タクシーの愛称について、広報やホームページを活用し、市民からの公募も含め検討する。			●	
	事業の協賛、支援	・例：運行を支援していただける市民や企業を募集し、利用者モニター、協賛金の提供などを協力していただけるよう検討する。				●
市民の意識高揚	PR・広報 利用案内、説明	市民への広報・周知 実証運行地域住民への説明会  <ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報誌、ホームページへの掲載</li> <li>・運行地域住民への説明会</li> <li>・パンフレットの作成</li> <li>・ポスターの作成</li> <li>・公共交通利用の一元化マップ等の作成</li> <li>・転入者へのPR</li> <li>・地域公共交通のHP一元化情報掲載</li> <li>・関係機関への周知、情報提供</li> <li>・報道機関への情報提供 など</li> </ul>	●	●	●	●
	地元企業のHP等によるデマンドタクシー利用の周知	・地元企業（例 商業施設、東金病院など病院等の医療施設）のHPへ、デマンド型乗合タクシーの概要を掲載（リンク）できるよう検討を進める。			●	●
	利用促進のためのイベント等の開催	・出発式や車両見学会等イベントの開催について実施へ向けて検討を進める。		●	●	●



---

**東金市総合交通計画に基づく  
デマンド型乗合タクシー実証運行計画**

平成24年3月27日

発 行 東 金 市  
企画・編集 東金市 企画政策部 企画課（統計調査係）  
〒283-8511 千葉県東金市東岩崎 1-1

---